

デンソーらしさを発揮した価値創造

創業時の苦難と挑戦の歴史を乗り越えて制定された社是と、それに込められた想いは、今日までの様々な価値創造の源泉となっています。ここでは社是の4つの考え方を体現し、お客様や社会に対して価値を提供してきた象徴的な事例をご紹介します。



1959年

デミング賞への挑戦

価格ではない。品質で、世界と勝負する。

自動車の貿易自由化を間近に控え、激化する国際競争を生き抜くために、品質管理の最高権威である「デミング賞」への挑戦を決意しました。受賞企業へのヒアリングや社外セミナーへの積極的な参加を経て、階層別の教育計画を設定。現場でも毎日のように勉強会を行いました。今までの知識や経験を過信せず、全社一丸となって「品質管理」の習得に取り組み、仕事の進め方を根底から見直したことで、1961年10月、トヨタグループ初のデミング賞を受賞しました。この取り組みが、今日も続く「品質第一」の思想や風土の礎になっています。

虚飾を排し和衷協力誠実に當る

1968年

半導体製品の内製化

社会の価値となる製品を生み出すために
とにかく必死に学び、行動し、道を切り拓いた。

将来的に自動車部品が電子制御化されることを見越して、1968年にIC研究室を立ち上げ、自動車業界では初の製造まで含む半導体開発を本格的にスタートさせました。自動車という特殊な環境で動く半導体は車載部品メーカーである我々にしかつくりえない。お客様にとって真に価値のある製品を提供するため、生産設備を手に入れ、専門家を含めた体制を整え、大手メーカーにも教えを請いました。そして半導体製品の量産化に成功した後も難易度の高い開発に挑戦し続け、今では半導体を含む電子関連製品はデンソールの主力製品のひとつに成長しました。

信用を尊び責任を重んず



1972年

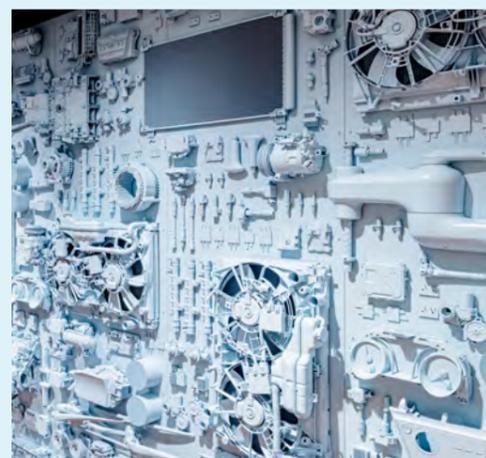
世界に先駆けたエンジン燃焼の電子制御化

自分たちの仕事を、
将来の人々の笑顔につなげるために。

大気汚染の悪化により、世界初の排ガス規制がアメリカで施行。クルマへの規制が厳しくなってきた1960年代頃、デンソーはさらに先の未来を見据え、EFI*の開発に乗り出しました。EFIはエンジンを自由に制御できるため、燃費も走りも損なわずに次世代の規制をクリアできる将来の主力製品になると考え、実績もない中で開発をスタートさせます。そして「一つの部品でも、自動車というシステム全体を考慮し、設計・評価する」という考え方のもと、自社でEFIを搭載したデモ車を製作し、お客様に提案、採用されました。クルマの負の側面も解決しながら、クルマの持つ魅力を一層高める。お客様視点で最高の品質を届けたいという想いは、今日においても不変です。

* EFI：電子制御式燃料噴射装置

最善の品質とサービスを以て社会に奉仕す



130以上の世界初製品を開発

時代に先駆けるテクノロジーを生み出す。

電装部品の枠を超えたシステム全体をまたぐ動力伝達・空調などへの拡張に始まり、部品の電子制御化を見越したいち早いIC研究室設立、ロボットやQRコードの独自開発など、これまでに130以上の世界初製品を生み出してきました。現在も、先端技術研究所や世界各地のテクニカルセンターなどで、5~20年先の未来を見据え、様々な分野でひたむきに技術を磨き続けています。

研究と創造に努め常に時流に先んず

QRコードの開発 一現場の困りごとを解決する一

1990年代に製造現場が多品種・少量生産へシフトしたことを背景に、より詳細な生産管理を進めるためバーコードの大容量化が求められました。バーコードスキャナの改良だけでは限界を感じ、従来のコードより容量の多い2次元コードの開発をスタート。さらに読み取りのスピードを上げるため、あらゆる文字や記号の比率を解析し独自の比率を持つシンボルを組み込み、大容量かつ高速読み取りが可能なQRコードを開発。QRコードは今や世界中の様々な場所で使われています。直近では、QRコードとブロックチェーン技術を活用したトレーサビリティシステムなど、活躍の場を広げ続けています。



QRコードを活用した事例「QRコード×ブロックチェーンで、トレーサビリティに革新を」はこちらをご覧ください。
<https://www.denso.com/jp/ja/news/stories/all/211018-01/blockchain/>

